

10:05~10:10 開会のことば
 10:10~10:15 歓迎のことば
 10:15~10:20 ガバナーその他紹介
 10:20~10:30 参加クラブ紹介
 10:30~10:40 ガバナーあいさつ
 10:40~12:00 クラブ奉仕部門フォーラム

13:50~14:20 テーブル
 マスター報告
 14:25~14:35 総評
 15:00 懇親会

◎新入会員御紹介

石橋 日出夫



推薦者
 (遠藤尚義会員)

- 1、勤務先及職名 株式会社 丸一商会
(代表取締役社長)
- 2、勤務先住所 函館市松川町36-7 TEL 42-2195
- 3、自宅住所 同上
- 4、生年月日 大正9年9月2日
- 5、最終学歴 旧制中学(庁立函館中学校)
- 6、ご夫人 石橋 和子 大正12年5月16日生
- 7、ご結婚 昭和21年9月27日
- 8、ご家族 次女 裕子 昭和24年5月6日生
- 9、趣味 読書・ゴルフ

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 1. 17	52名	37名	15名		
48. 1. 10	52名	42名	10名	9名	98.08%
在函クラブ	(1/4) 函館R.C. 89.34%		(1/5) 函館五稜郭R.C. 100%	(1/9) 函館東R.C. 98.91%	

★第432回例会欠席者

青柳・飯田・岩塚・杉本・小村・広瀬・下郡山・関本・平野・小笠原・成沢・沢村・佐々木・佐藤・平山 (15名敬称略)

次回例会日 1月31日
 プログラム 「日本の防衛」 自衛隊提供

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所 函館市大手町5-10
 日魯ビル3階
 ☎. (0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10
 国際ホテル
 例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1973. 1. 31

第434回 例会

1972~1973 第30号



角谷隆一 会員

Let's take a new look もう一度見直そう (Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

本日のプログラム
 映画「日本の防衛」 自衛隊提供

第433回 例会記録

- ◎司会 市川 芳夫会長
- ◎ゲスト 武内 収太氏
- ◎ビジター 余 市R.C. 安田 吾君 (石油販売)
 函館R.C. 田中 修市君 他5名
 函館東R.C. 鈴木 武二君 他1名
 函館(五)R.C. 飯淵 至大君 他3名
- ◎会長報告

本日のゲスト、並びにビジターの方々には、大変申し訳ございませんが、本日は粗食でございます。これによりまして、ロータリー財団に基付する基金となりますので、ご

理解をいただき、粗食にあまじっていただきたいと存じます。

◎幹事報告

- 1、100万\$の食事につき、ビジター料が¥400のところ手違により¥700いただいてしまいました。大変失礼致しました、その方は幹事迄お申し出下さい。
- 2、先般申し上げました、市内5クラブ合同の夜間例会について、決定致しましたのでお知らせ致します。

日時 2月19日 5時30分ヨリ 8時迄

場所 駅前拓銀ビル8階

(全員出席されますように、合同例会ですのでメーキャップのチャンスは2月19日、前日と云うこととなりますので、早目に御計画下さい。尚、例会は30分位で、卓話は皆さんご存知の作家の沢野氏でございます)

- 3、朝食会開催のお知らせ (炉辺会合)

日時 2月8日 朝7時45分～8時45分

場所 国際ホテル

- 4、3月18日、第351地区インターシテ・ゼネラルフォーラムが開催されますが、部門別協議会に当クラブとしての議題を報告しなければ、なりませんので、各奉仕委員長は至急議題を提出して下さい。

藤林会員には正モデレーターを務めていただきますが、記録の方に一名出席していただくかねばなりません、会報委員長の吉井会員には病気の為、非常に身体の調子が悪いと云うことでありますので副委員長の椎谷会員にお願い致します。

(時間・プログラム等は、会報第29号 127・128ページ)

- 5、例会終了後臨時理事会を開きます。

◎親睦活動委員会 平野委員長

「第3回マージャン大会」を、2月上旬に開催いたしたいと考えております。

新年でもありますので、盛大に開きたいと考えます。尚、優勝カップ(川筋杯)は現在東クラブ(先回優勝者は高野先生だったと思っております?)に廻っておりますが、時間的な面、土曜日、あるいは日曜日にするか多数の参加で盛大にと云うことで、御意見をいただきたいと思っております。ろよく御協力の程お願い致します。

★ニコニコボックス報告

山内(文)会員 何んとなく 山崎(幸)会員 何んとなく
下郡山会員 100パーセント出席の記念として
成沢会員 ホームクラブ欠席のお詫びとして

◎卓話「陶磁器の話」 武内 収太氏

昔から云われます様に、道楽もいろいろあるが、陶磁器迄来たら終りであると、それはいろんな美術部門がその中に総合されているわけであり例えば色彩・形・触覚の美であり、歴史的価値づけがあります。特に中国の陶磁器については、今日のように化学が発達し、それはどのような材料であり、どのような方法で作られたか分折し、解ったとしても更に作ってみようとしても出来るものでは決してない。更に又、中国の陶磁器は

世界最高のものであると、氏は云う。又、古くは前2,300年の昔、朱の時代にすでに立派な作品が作られていたことなど、戦争にて中国に渡り8年間自分の眼、指にふれ、体験談をまじえたお話と説明がありました。

◎去年・今年貫く棒の如きもの 第351地区ガバナー 塩谷 猛

拡大鏡をもって綱領を、また、ロータリーの歴史・真の心をもう一度見直そう、そして世界の大きな変化に即応して、ロータリアン各自が素心に帰り、ホールハリスの心を味わって国際ロータリーの歩みを大きく推進したいものだと思う。この点、柳瀬委員長始め、先輩各位の大変な御努力で作って戴いた「日本ロータリー50年史」は、かけがえない尊い座右の書であります。若者に魅力あらしめる国際ロータリー、にと言われるビックマン会長の心を思う時、この変革時代、情報化社会の時代にロータリークラブは、如何にあるべきかを皆さんと機会ある毎に語り合いたいと思う。

元国際ロータリー会長の方々、過去に色々な言葉で説かれている要は、すべて実践を旨とし、奉仕は全員参加するところに尊い心のあることを夫々に良く噛み締めてみる必要があると思う。

今やロータリークラブは単独で世界社会奉仕に乗り出すチャンスであり、そのために今年から世界社会奉仕が復活し、資料調整室の活動が拡充されて居ることを良く考えるべきであろう。その内で良い実績は事により分区から地区、更には組合せ地区へと拡大されることが筋道であろう。

今日のロータリークラブは進んでローターアクト或いはインターアクトの育成に積極的であるべきで、特に勤労青年によるローターアクトは国情からみて、拡大の面は誠に大きく両アクトを育成し、座談し、奉仕する中に若者に魅力あらしめる国際ロータリーへの道は大きく拓けてゆくものと信じる。

ロータリー財団への協力はその積極性について限界を示す論はあり得ないと思う。自主性による根本精神は見失うべきではないが、若い大使をより多く送り出そうとのビックマンR.I.会長の真意は自問自答して、前向きに対処すべきだと思う。しかし、私は勿論、強制的な画一的な予算の背伸びを徹底も考えるものではない。奉仕はさせて戴くのだとの内面から湧き出す心を尊しと考えるものである。

この点、奨学生の推薦、交換学生受入れの調整、財団学友による留学準備について全国的視野にたってお世話下さった第358区の鈴木ガバナー、第366区の大谷ガバナー・第373区の小田バスターガバナーの御好意、また、「友」を通して多くの励みを与えて下さった皆様には心から感謝申し上げる次第である。

今日のロータリークラブは、広報委員会のみならず全会員が広報に努めるべきだと思う。無論、ロータリーの広報は単なる宣伝を意味するものではない。路上の石を捨てる心、小さな親切を自ら卒先し拡大する心、吸殻を捨つつつ、吸殻を捨てない国造りを考える心によって、全員参加を旨とする実践そのものをより拡大し、より良い社会造りへの衝動と家参加をすべての人に及ぼす為の意欲的活動はすべての広報であり、自分の全生活を通して留意実践すべきものだと思う。

(ロータリーの友より転載)

こばなし ・アンコール

ロータリーの友ヨリ 7歳になったばかりのアルパートがコンサートに出演した。とてもうまく歌ったので聴衆からアンコールがかかった。帰宅すると父親が「どうだったアルパート」と聞くと、「僕とてもうまく歌えたと思ったのに歌い直しさせられた。」

他に手が無い

サム「君の奥さんが新しいミンクのストールを着ていたのを見たよ、あったかいだろうな」
トム「あたたかくしてやろうと思って買ったんじゃないんだ、静かにしてもらいたいよ」

★社長交際術 奥方

毎朝きまった時間に家を出、夕方ハンコで押したように帰ってくる。そして、妻子と一緒に細君のつくった料理を堪能する。休日は女房・子をつれてレジャーをたのしむと、云うことが出来れば、奥方のご機嫌は上々、企業の責任者、ともなれば、心ならずもこのような訳にはいきかねる。家庭か仕事か。二者択一をせまられるとき、社長となれば口が曲っても家庭より仕事となる。女房・子をないがしろにする気は毛頭なくとも結果的にはそうになってしまう。しかし、女性の立場からすれば、亭主が社長の重責にあることはアタマで理解出来ても心情的には納得できない。

「仕事」に見返えられた女のさみしさ、口惜しさが無いと云っては嘘に在る。そのあげく仕事で遅くなって、社用で出張しても、夫人は女性特有のモノサシで夫の行動をはかること無しとせず、外に「女」がいるのではないか、仕事を口実に浮気しているのではあるまいか等々の揣摩臆測は女人の本性。これを放置しておく、彼女の不信はいよいよ深まり、やすらぎ、憩いの場であるべきわが家のムードがつめたく、凍りついてしまうに至る。

社長の一日は、朝から晩までタカキである。社の内外に気を配り、商敵とは交友と闘争のくり返しに終始する。いかにタフな人間でも、これでは気心ともに疲弊する、それをいやしてくれるのは何んといっても家の妻だ。彼女は内政を見、夫のかげの力になるべき人、陰に陽に、夫を助け、心おきなく健闘なし得るエネルギーを提供すべき人的資源である。

社長はマイホーム亭主であるべきではないかもしれないが、さりとて夫人の心情を察することも出来ぬ朴念仁であっても困る。銃後のまもり堅からざれば、前戦の士気にも影響する。社長すべからく、この儀で承知あって、中閑をつくって夫人を慰め、楽しませられんことを切に祈る。――とは、多分社員一同のねがいでなかろうか。

(近代中小企業ヨリ)

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 1. 24	52名	33名	19名		
48. 1. 17	52名	37名	15名	10名	94.00%
在函クラブ	(1/11) 函館R.C. 87.54%	(1/12) 函館五稜郭R.C. 100%	(1/16) 函館東R.C. 97.80%		

◎お知らせ!! ★理事会審議事項

- 1、アッセンブリーと親睦の意味を兼ねた新年会盛大に行なうこと、の件決定す。
2月14日(水)湯川めんどり亭 PM 6:00ヨリ
- 2、副幹事人選の件(吉井会員病気の為)少し時間をかけて審議することになった。

次回例会日 2月7日

プログラム「青函船舶鉄道管理局 進藤次長さんのお話」

2月14日・プログラム予定「日銀支店長 宮嶋 治氏のお話」

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所
函館市大手町5-10
日魯ビル3階
☎.(0138) 23-3870



例会場 函館市大手町 5-10
国際ホテル
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1973. 2. 7

第435回 例会

1972~1973 第31号



角谷隆一 会員

Let's take a new look もう一度見直そう (Roy D. Hickman R.I. 会長指針)

本日のプログラム

「国鉄の現状と今後の予想」

青函船舶鉄道管理局 営業部長 進藤 富治氏

第434回 例会記録

- ◎司会 市川 芳夫会長
- ◎ゲスト 齊藤 満氏 (自衛隊函館地方連絡所)
- ◎ビジター 函館R.C. 村上 正夫君 他11名
函館東R.C. 杉村 藤夫君 他7名
函館(五)R.C. 前田 憲司君 他1名
- ◎会長報告

- 1、本日は、1月の最終例会日であります。この最終例会日を会長に副会長が幹事には副幹事という型で例会を行なう予定でありましたけれども、副会長の駒井会員が社用出張中にて休んでおられまして出来ませんので残念です。
- 2、沢村会員が、東京の大井R.C.を訪問され、パナーをいただいて参りましたので回覧致します。